

「祈」テーマ思い思いに

八戸

八戸学院大短期大学部

(杉山幸子学長)の幼児保

育学科などは6月26日、八戸市の白浜海岸で砂浜彫刻を制作した。参加した学生

らが「祈」をテーマに、仲間と協力しながら思い思いの作品を仕上げた。

砂遊びを体験して今後の保育活動に役立てようと、2006年度から毎年行っている。八戸学院光星高(中



「祈」をテーマに砂浜彫刻を制作した学生たち

八学短大生ら白浜海岸で砂浜彫刻

村良寛校長)の保育福祉学科の生徒も参加し、計230人が制作に当たった。

砂は失敗しても作り直しができるため、子どもにとつて扱いやすい素材。参加者はゼミごとに、海水で砂を固めながら平和を象徴するハトやハート形の地球などを形作り、貝殻やワカメを飾り付けながら約3時間で完成させた。

同学部2年の立花綾乃さん(19)が所属するゼミは、花束を持った花嫁を表現。

「新型コロナウイルスで結婚式を延期している人が多いが、これから幸せになつてほしい」と願いを込めた。

マリア像を作った同2年の小清水いちごさん(20)は「乾いた砂を形にするのが難しかった。子どもたちと一緒に遊ぶときは、工夫しながらやることを伝えたい」と話した。

(佐々木美香)